令和 3 年度　東京都内湾水生生物調査　10 月鳥類調査　速報

●実施状況

令和 3 年 10 月 7 日に鳥類調査を実施した。天候は曇りで、気温 21.8～23.0℃、北～北東の風、風速 1.5～3.5m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 11 時 31 分（43cm）、満潮は 17 時 23 分（207cm）であった（気象庁のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚(東なぎさ)
作業時刻	9:21-10:28	10:53-11:39	12:23-14:08
天候	曇り	曇り	曇り
気温(℃)	21.8	22.0	23.0
風向	北	北東	北
風速（m/sec）	3.0	3.5	1.5
備考	海浜公園側ではオリ・パラリンピック関連と思われる撤去作業が行われていた。	最干潮時刻前から干潟が広く干出していた。	干潟は広く干出していた。

●主な出現種等

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚(東なぎさ)
数が多かった鳥類上位 2 種	カルガモ(63 羽) カワウ(51 羽)	ウミネコ(52 羽) アオサギ(24 羽)	ウミネコ(712 羽) カワウ(122 羽)
備考	・重要種として、オオタカなど、6 種を確認。 ・第六台場と鳥の島でカワウ 51 羽を確認したが、営巣は見られなかった。繁殖は終了したと思われる。 ・鳥の島周辺でアオサギの個体数が多く、主に休息。 ・オオタカ 2 羽を確認。成鳥 1 羽が鳥の島で休息、幼鳥は同一個体と考えられる 1 羽が第六台場と鳥の島で確認された。	・重要種として、ハヤブサなど、7 種を確認。 ・干潟でユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメが休息。 ・干潟でダイサギ、コサギと一部のアオサギが採餌。 ・干潟付近の杭の上でカワウが休息。 ・上空をトビ、ノスリ、ハヤブサが飛翔。ハヤブサは干潟に向かって急降下するのが観察された。	・重要種として、チュウサギ、ヒクイナ、ホウロクシギ、ミサゴなど、16 種を確認。 ・干潟でカワウ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメが休息。 ・干潟でアオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギが採餌。 ・シギ・チドリ類は、タシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、コアオアシシギ、イソシギを記録した。 ・沖合でミサゴが休息。 ・ヨシ原でヒクイナの鳴き声。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	令和3年																								重要種 選定基準			
				5月								9月								10月											
				お台場海浜公園				葛西人工渚(東なぎさ)				お台場海浜公園				葛西人工渚(東なぎさ)				お台場海浜公園				葛西人工渚(東なぎさ)							
				第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	文化財保護法	種の*1保存法	環境省*2 RL 2020	東京都*3 RL 2020 (区部)
1	カモ	カモ	マガモ																	1			1								
2			カルガモ		10		10	2						6	6	4				4	7	52	63	1							
3			コガモ													8								7							
4			スズガモ			1	1																								留
5			ウミアイサ																						1		1				DD
6	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ																						1		1				留
7	ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ															337	337												
8	カツオドリ	ウ	カワウ	678	170	11	859	12	106	5	111	860	152	7	1019	45	290	2	292	22	26	3	51	7	122		122				
9			ウミウ	1			1																								
10	ペリカン	サギ	ササゴイ													1															CR
11			アオサギ	9	12		21	7	1		1	3	38		41	35	26		26	7	18	5	30	24	29		29				
12			ダイサギ	1			1	4	12		12		20	1	21	16	29		29			4	4	13	46		46				NT
13			チュウサギ						1		1					1									3		3			NT	NT
14			コサギ	1	1	3	5	4	8		8		1	1	2	1	13		13					2	23		23				VU
15		トキ	ヘラサギ						1		1																			DD	
16	ツル	クイナ	ヒクイナ																						1		1			NT	CR
17			オオバン					3																	2		2				CR
18	チドリ	チドリ	ムナグロ						4		4																				VU
19			ダイゼン						1		1																				VU
20			コチドリ					2																							CR
21			シロチドリ						3		3																			VU	CR
22			メダイチドリ					1																					国際		VU
23		ミヤコドリ	ミヤコドリ						25		25																				VU
24		シギ	タシギ														1		1						3		3				VU
25			オオソリハシシギ						1		1																			VU	EN
26			チュウシャクシギ					3	11		11																				VU
27			ダイシャクシギ						2		2						1		1						2		2				CR
28			ホウロクシギ						2		2						2		2						2		2		国際	VU	CR
29			コアオアシシギ																						2		2				CR
30			アオアシシギ						18		18						1		1												NT
31			キアシシギ			3	3	2	17		17																				VU
32			ソリハシシギ						1		1																				VU
33			イソシギ		4	1	5	3	1		1		2	1	3	2					7	2	9	4	1		1				VU
34			キョウジョシギ	28		21	49	22	5		5																				VU
35			ハマシギ						5		5																			NT	VU
36		カモメ	ユリカモメ													1	1		1					20	6		6				
37			ウミネコ			1	1	11	171	26	197		1	2	3	81	241	46	287	1			1	52	483	229	712				留
38			セグロカモメ						1		1					5	2		2		1		1	10	6	1	7				
39			オオセグロカモメ						4		4					3	126	3	129			1	1		48	71	119			NT	
40			コアジサシ					2	85		85																			VU	EN
41			アジサシ						229	3	232																				
42	タカ	ミサゴ	ミサゴ					2										2	2							2	2			NT	EN
43		タカ	トビ									3			3	2	2		2		1		1	2	4		4				NT
44			オオタカ		1		1					1			1					1	1		2							NT	EN
45			ノスリ																					1							CR
46	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ														1		1					1					国内	VU	EN
47	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ						1		1		1	1	2	1	1		1		2	1	3	3	1		1				
計10目15科47種				6 種	6 種	7 種	12 種	15 種	26 種	3 種	26 種	4 種	7 種	7 種	10 種	15 種	15 種	5 種	17 種	6 種	8 種	7 種	12 種	14 種	20 種	4 種	21 種	0 種	3 種	12 種	34 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録　改訂第7版」（日本鳥学会,2012)に従った。

*1種の保存法　国際:国際希少野生動植物種　国内:国内希少野生動植物種

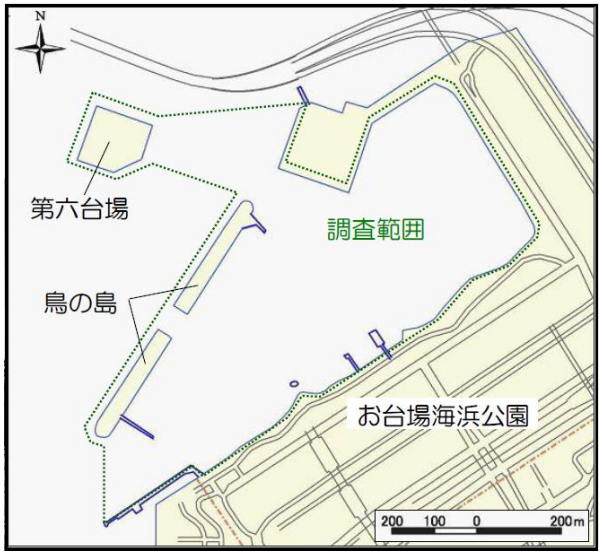
*2環境省レッドリスト2020　CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

*3東京都レッドリスト(本土部)2020年度版　CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、留:留意種

＜お台場海浜公園＞

〇調査地点の状況

第六台場・鳥の島ではカワウの営巣は終了していた。



〇出現種（カワウ、アオサギ）

カワウは 51 羽が第六台場と鳥の島周辺で見られた。繁殖活動は終了しており、使用中の巣は見られなかった。アオサギは 30 羽で、主に鳥の島の護岸付近で採餌・休息していた。

〇出現種（マガモ、カルガモ）

カルガモは合計 63 羽で、主にお台場海浜公園と鳥の島で採餌・休息していた。お台場海浜公園北東側の砂浜では上陸して休息する 9 羽の群れが見られた。マガモは第六台場上空を飛翔する 1 羽が確認された。

〇出現種（オオタカ）

成鳥 1 羽が鳥の島の地上に降りていた他、第六台場と鳥の島で同一個体と思われる幼鳥 1 羽が確認された。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧（NT）、東京都レッドリストで絶滅危惧ＩＢ類（EN）に指定されている。

＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

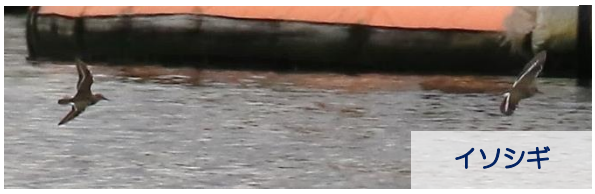
最大干潮時刻で、干潟は広く干出していた。

○出現種（ハヤブサ、ノスリ）

調査開始直後にハヤブサ幼鳥 1 羽が飛来し、干潟に向けて急降下したため、干潟に降りていたコガモやカモメ類が一斉に飛び立った。ハヤブサは種の保存法で国内希少野生動植物種、環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）、東京都レッドリストで絶滅危惧ⅠB 類（EN）に指定されている。ノスリは上空を通過して北東へ飛び去った。ノスリは東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類（CR）に指定されている。

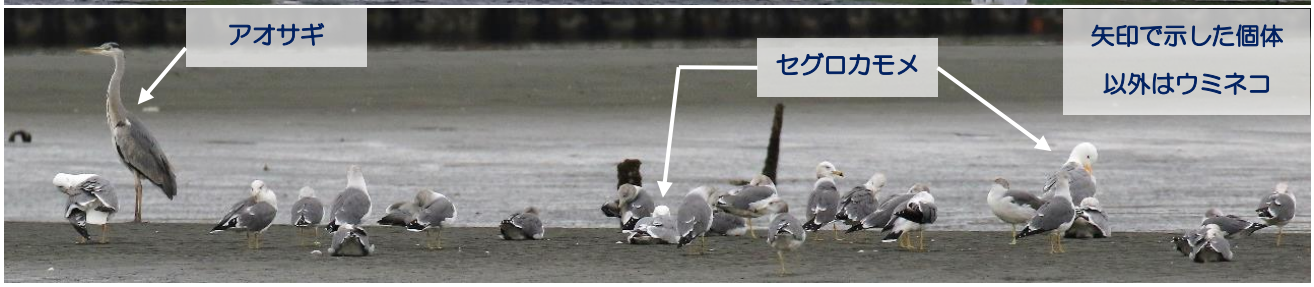
○出現種（イソシギ）

シギ・チドリ類では、護岸で採餌するイソシギが観察された。本種は東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。



○干潟利用状況

干潟でユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメが休息していた。アオサギとダイサギは干潟に広く分散し、水溜りや浅瀬で採餌していた。カワウは干潟周辺の杭にとまって休息していた。

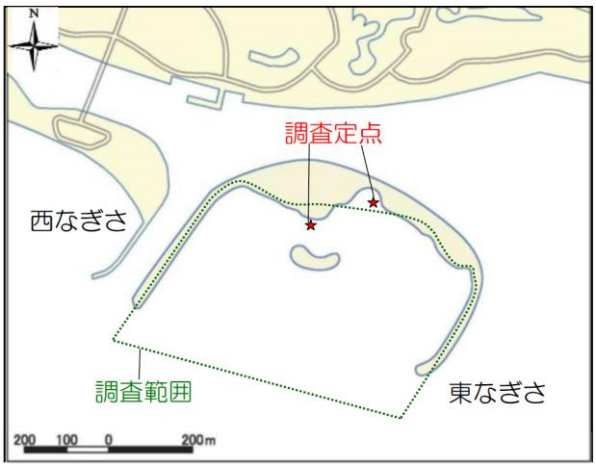


＜葛西人工渚＞

○調査地点の状況

干潟は広く干出し、調査中に徐々に狭まっていった。

西側の地点より南西方向を見る

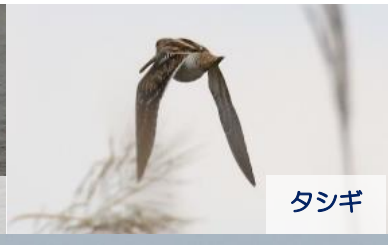


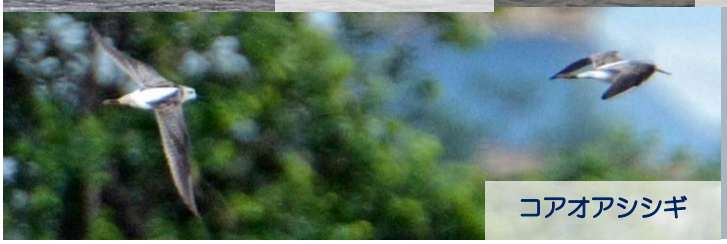
○出現種（シギ・チドリ類）

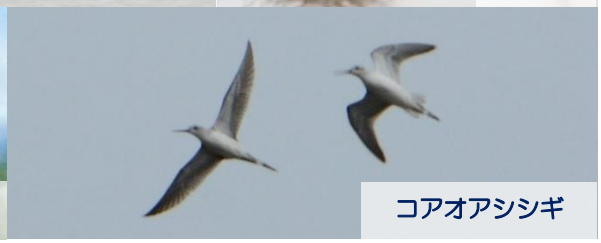
ダイシャクシギ 2 羽、ホウロクシギ 2 羽、コアオアシシギ 2 羽、イソシギ 1 羽が干潟で、タシギ 3 羽が草地で確認された。ダイシャクシギは東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類（CR）、ホウロクシギは種の保存法で国際希少野生動植物種、環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）、東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類（CR）、コアオアシシギは東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類（CR）、タシギは東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。

ダイシャクシギ

ホウロクシギ


タシギ

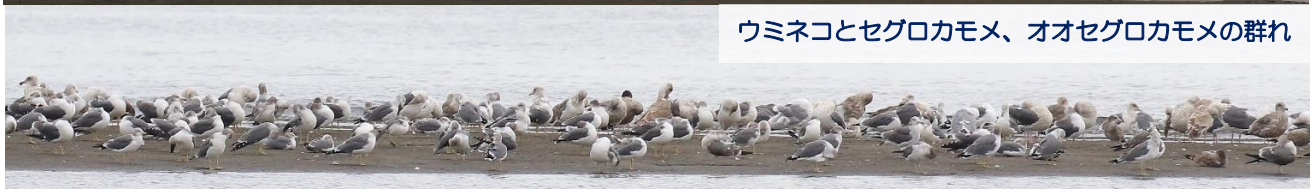

コアオアシシギ


コアオアシシギ

○干潟利用状況

干潟でカワウとユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメの群れが休息。浅瀬や水たまりでアオサギ、ダイサギ、コサギが採餌。チュウサギ 3 羽が干潟で採餌していた。オオセグロカモメは環境省レッドリストで準絶滅危惧（NT）に、チュウサギは環境省レッドリストと東京都レッドリストで準絶滅危惧（NT）に指定されている。

採餌するダイサギとコサギ

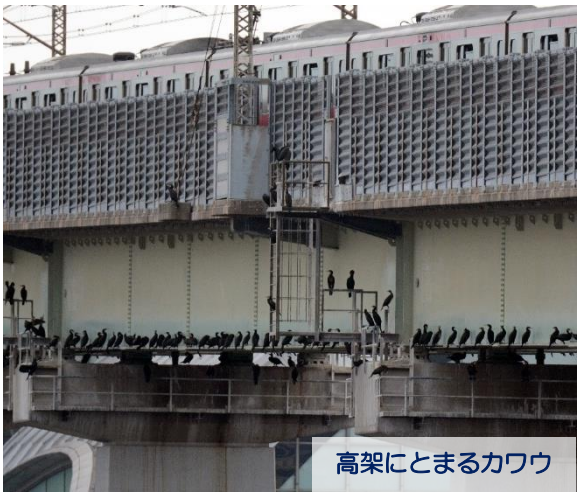

ウミネコとセグロカモメ、オオセグロカモメの群れ

＜その他＞

〇ウミネコの繁殖

砂町運河ではウミネコ成鳥 3 羽を確認したのみで、構造物上に巣の痕跡は見られなかった。今季の繁殖は終了したと考えられる。9 月調査に引き続き、京葉線の高架に多数のカワウがとまっているのが確認された。

ウミネコが営巣する構造物

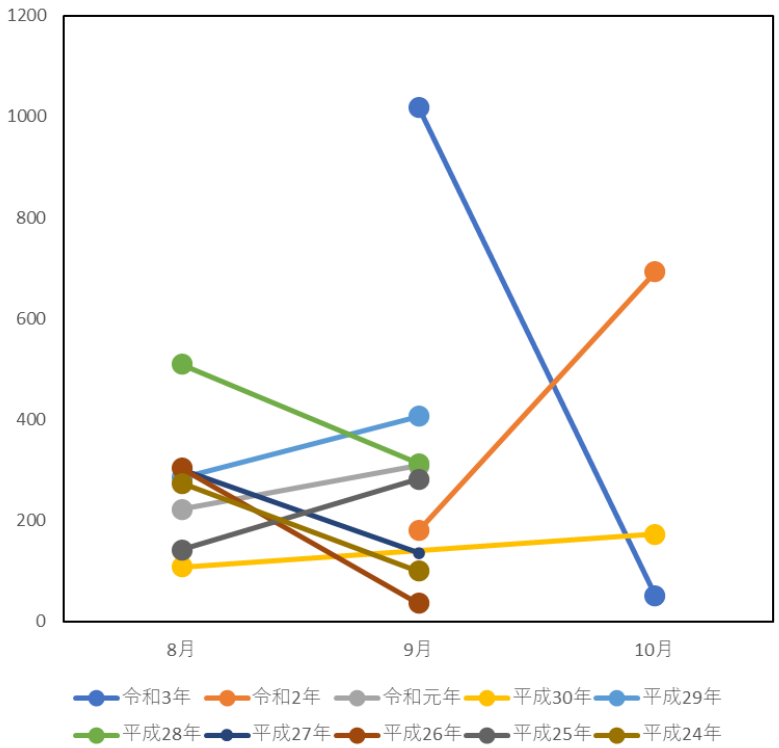

高架にとまるカワウ

＜トピックス＞

－ カワウの増減 －

お台場海浜公園で記録されたカワウの個体数は、9 月 22 日 1019 羽、今回 10 月 7 日が 51 羽と、約半月の間に大きく変化した。9 月・10 月とも観察されたカワウはすべて休息しており、個体数が変化した要因を示唆する行動や環境の変化は見られなかった。

過去 10 年間の調査結果から、9 月前後のカワウの個体数の変化を右図に示す。各年度の中で 9～10 月の増減について一定の傾向は見られなかった。また、9 月の個体数として令和 3 年が顕著に多いことが示された。



図．8～10 月のお台場海浜公園における
過去 10 年間のカワウの個体数